



認定NPO法人

富士山測候所を活用する会

式1]

夏期観測 2024 研究速報 (プロジェクト報告書)

1.氏名

(和文) 加藤俊吾

(英文) KATO, Shungo

2.所属

(和文) 東京都立大学

(英文) Tokyo Metropolitan University

3.共同研究者氏名・所属

(和文)

(英文)

4.研究テーマ

(和文) 富士山頂における一酸化炭素, オゾン, 二酸化硫黄の夏季の長期測定と火山ガスの越冬観測

(成果)

富士山頂で一酸化炭素計、オゾン計、二酸化硫黄計を設置し、2024年7月23日から8月22日までの大気測定データを取得した(図)。一酸化炭素とオゾンはおおそ似たような長期的な変動をしており、遠方からの長距離越境汚染でおおよそ説明できると考えられる。比較的安定した大気の状態であったことがうかがえる。二酸化硫黄は8月6日に高めの濃度が見られたが、わずか0.7ppbの濃度上昇であった。一酸化炭素に同期した変動がみられないため、他の火山ら噴煙の影響をとられていたと考えられる。これまで継続しおこなってきた火山ガスセンサーによる通年観測を引き続きおこなうため、センサー交換充電などをおこなって、引き続き観測結果をリアルタイムで公開するようにした。

(英文) Long term observation of carbon monoxide, ozone, and sulfur dioxide during summer and volcanic gas monitoring year around at the summit of Mt. Fuji

(Results)

Carbon monoxide, ozone, and sulfur dioxide were measured at the summit of Mt. Fuji during summer in 2024. CO and O3 showed similar concentration variation. Slightly high SO2 were only observed on August 6. Monitoring of volcanic gases using electric gas sensors were conducted and the obtained data were uploaded to the public website.



認定NPO法人
富士山測候所を活用する会

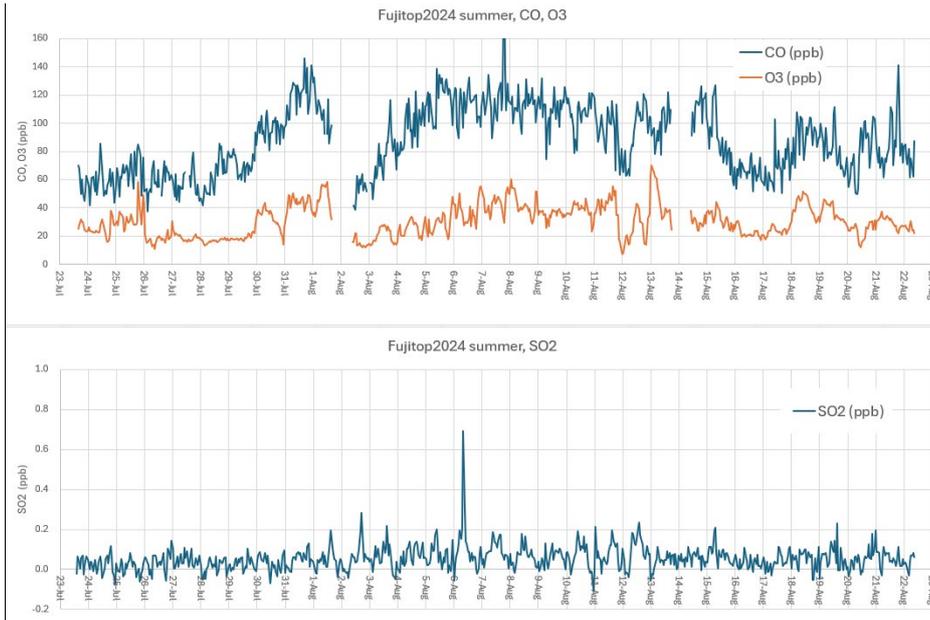


図 2024年夏の富士山頂でのCO, O3, SO2の測定結果